

**新製品開発におけるフロント・エンド・ローディング****“2023 年の総括と 2024 年の期待”****—製品価値の限界と超越 (その 2)—**

(株) ジョンケルコンサルティング 落合以臣

**Front-end loading in new product development****“Summary of 2023 and hopes for 2024”****- The Genesis of new product development (2) -**

Shigemi Ochiai, Jonquil Consulting Inc.

**Keywords**

円安、金融不安、社会不安、民族闘争、政治の混乱、鍛錬

*Weak yen, financial instability, social unrest, ethnic strife, political turmoil, discipline.***2023 年の総括**

2023 年も余すところ 1 カ月となりました。皆様におかれましては、充実した 1 年でしたでしょうか。コロナ禍という未曾有のクライシスを経験し、まさのその余韻とでも申しましょうか、後始末に翻弄とした年であったとも言えるでしょう。しかしながら、2024 年になれば明るい展望が待っているという楽観的な考えは、危険であると言わざるを得ません。それは、円安、金融不安、社会不安、諸外国での戦争、民族闘争、政治の混乱、国際ルールに乗らない国の台頭など、数多くに不安要素があるからと言えます。たくさんの不安要素は、今始まったことではなく、一つの時代が変わるごとに起きたと言っても過言ではないでしょう。

こうしたことに鑑みますと、不安のない世の中はあるはずがなく、それらの不安をどのような方法を持って克服していくのかという視点で、見直すことが重要であると思います。ものづくりに携わるエンジニアにとってはなおさらのこと、不安要素を逆に跳ね返し安心を与える新製品開発が望まれます。とかく製品の品質、満足度とは関係のない領域での宣伝が目立ち、いざ購入してみると宣伝の 50%も満たない内容であることも多くみられます。例えば、自動車の宣伝がそれに当てはまると思います。ゴーヤス、洗礼、スピード感などの宣伝が先行し、安全、低燃費、無公害などのワードは後退したと言えます。

**2024 年の期待**

「2024 年になれば明るい展望が待っているという楽観的な考えは、危険であると言わざるを得ません。」と申し上げました。その意味は、中国経済破綻の証の表面化が、2024 年には多く露呈すると思います。不動産だけでなく、あらゆる分野において、我が国が経験したバブル経済崩壊の 20 倍になると言えます。しかしながら、中国は先進国ではなく、発展途上国の大国なために、他国へそのツケを押し付けることをなんのためらいもなく行うでしょう。人が窮地に陥ったときは 3 つの行動に出ると言われています。一つは黙っておとなしくしている、二つ目は虚勢を張る、三つ目は相手に喧嘩をしかけ自身を優位に立たせとすることです。発展途上国の大国になった中国という国は、二つ目と三つ目を踏襲していると思わざるを得ません。2024 年は、こうした事情に振り回されないようにすることが肝要と思います。

それでは、2024 年にどのような期待が持てるのでしょうか。それは、自身を強くする鍛錬の時代とし、それぞれの立ち位置を見直すという時代の始まりと言えるでしょう。今まで何を蓄積し、何をなしてきたのかなど、自分自身を再発見することだと思います。筆者自身も同様に、2024 年は今まで蓄積したことを具体化させる時代の始まりと考えております。かと言って、華々しく立ち振る舞うのではなく、粛々と深く深く先行しながら、あつという間に具現化したという状況を作り出すことであると思っています。その準備をすでにスタートさせ、2024 年の新たな年が開幕すると同時に突き進むことにしています。

**2023 年の御礼**

今年は、いろいろな角度から「製品価値の限界と超越」を書き下ろしてきました。2024 年は、新製品開発における精神的な支えを中心に、書き下ろしていくつもりです。2024 年は、皆様にとりまして、よいお年になるとお祈り、2023 年の締め括りとさせていただきます。誠にありがとうございました。